

中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の更新等に係る設計に関する取組み

1 経緯

これまで、中央デザインプロジェクトにおいて市民参加を行いながら検討し、令和元年12月に中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の更新等に関する基本計画を策定した。

令和2年度は基本計画に基づき、基本設計・実施設計業務委託等に関する取組みを実施する。

2 基本設計・実施設計の業務委託契約等

(1) プロポーザル方式

(仮称) 新建物は人口減少等を踏まえた持続可能な施設総量の縮減を踏まえ、中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の合計延べ床面積約10,000㎡を8,000㎡に縮減することを基本的な方向として複合化する。市民の多様な活動や交流が地域課題の解決につながるような施設とし、地域課題の担い手育成の場を展開することをコンセプトとしており、ハードとしては、できる限り外部から活動が見えるオープン化、ソフトとしては、機能やサービスの質的融合を目指している。一方で、複合化により目的の異なる機能が同一の建物に設置されるため、動線や配置、防音などに配慮が必要となる。

以上のことから、本事業は大規模かつ複雑なものであり、また、本事業規模での既存施設の複合化については、市として初の試みとなり、広範囲で豊かな知識と経験のある最適な事業者を選ぶ必要があるため、公募型によるプロポーザル方式により、基本設計・実施設計業務委託契約の委託事業者を選定する。

(2) 委託事業者決定に伴う説明会

基本設計・実施設計業務委託契約後に、委託事業者の紹介や公募に係る提案の概要等を市民へ伝える主旨で説明会を開催する。

なお、新型コロナウイルスの影響により説明会の開催が困難な場合は、委託事業者の説明動画を作成し、市のホームページで公開する。

① 情報提供

小平市公共施設マネジメント推進計画では、基本設計の段階でも市民と意見交換を行うとしている。

市民の基本設計への理解を深めることを目的に、今後の意見交換への過程として、また情報提供の一環として説明会を開催する。

② 市民との関係性の継続と愛着の醸成等

市民に親しまれ、愛着を持って利用される施設とするためには、自分達が施設の整備に携わったという意識を持つことが必要であり、そのためには可能な限り機会

を捉えて、継続的に市民と接点を持つことが重要となる。

③ 興味喚起

より多くの市民により親しまれる施設とするため、これまで中央デザインプロジェクトに参加がなかった市民に対して、新たに興味を持ってもらうための契機とする。

3 今後のスケジュール（基本設計・実施設計関連）

新型コロナウイルスの影響を考慮して検討中

4 予算額

令和2年度	93,970,000円
令和3～4年度	219,262,000円（債務負担行為）
合計	313,232,000円